

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年9月4日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして、補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、1.（1）第27回原子力規制委員会定例会が明日9月5日水曜日午前に開催される予定でございます。議題は4件予定されております。

まず、議題1「日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の設置変更許可申請書（JRR-3原子炉施設等の変更）に関する審査書等について」。こちらは、JAEA原科研のJRR-3原子炉施設等に係る設置変更許可申請に関しまして、審査書案を取りまとめ、関係機関に意見照会を行うことについて、委員会において御審議をいただくというものでございます。

次に、議題2「日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の設置変更許可申請書（放射性廃棄物の廃棄施設等の変更）に関する審査書等について」。こちらは、同じくJAEA原科研の放射性廃棄物の廃棄施設等に係る設置変更許可の申請につきまして、審査書案を取りまとめ、関係機関に意見照会をすることについて、お諮りをするというものでございます。

次に、議題3「原子力安全、核セキュリティ及び保障措置の調和に向けた対応状況について」。こちらは、原子力安全、核セキュリティ及び保障措置の調査、いわゆる3Sの調和の課題に関しまして、本年4月の委員会で審議が行われまして、対応の方針が決定されたところでございます。その後の原子力規制庁における対応の状況を委員会に報告し、今後の進め方について、御議論をいただくというものでございます。

最後に、議題4「原子力規制委員会の2019年度概算要求及び機構・定員要求について」。こちらは、原子力規制委員会の2019年度の概算要求等に関しまして、委員会に対して報告を行うというものでございます。

以上が定例会の議題でございます。

次に、その下、広報日程の（2）第28回の原子力規制委員会臨時会議が来週9月10日月曜日の11時から開催される予定となっております。こちらの議題は、記載のとおり「情報システムセキュリティに関する現状と課題について」ということで、この議題につい

て、委員会で御審議をいただくというものでございます。内容は核物質防護に関する情報を取り扱うものでありますため、非公開で開催をさせていただきます。

次に、2ページ目でございます。中段、9月10日月曜日、その下、下段になります（6）でございます。こちらは、電力中央研究所原子力リスク研究センターとのリスク情報の活用に関する意見交換、こちらの予定が新しく入ってございます。夕方16時から実施をする予定でございます。

こちらは、電中研原子力リスク研究センターのアポストラキス所長とメザーブ顧問が原子力規制委員会、こちらのビルにお越しになりまして、更田委員長、山中委員がお会いし、議題でございます「リスク情報の活用について」ということで意見交換を公開で行うというものでございます。こちらは電中研の側から、こうした件について意見交換を行いたいという要請があつて、セットされた意見交換の会合でございます。

最後に、3ページ目、3.（1）、こちらは従来より開催しておりますリアルタイム線量測定システムの配置の見直しに関する福島県内の住民説明会でございますが、順次行っておりますけれども、6件新たな場所での開催の予定がセットされましたので、記載されてございます。念のため言及をさせていただきます。

私からの御説明は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ドイツさん。

○記者 電気新聞のドイツです。

2ページ目の（6）の電中研原子力リスク研究センターとの意見交換に関連してお聞きしたいのですけれども、今まで面談という形でアポストラキスさんとかとの会合というのは、不定期に持たれていたように思うのですけれども、恐らく今回、公開の場で意見交換というのは初めてかと思うのですが、その確認と、公開でやることになった意味合いとか、経緯というのがもしあれば教えてください。

○大熊総務課長 これまでこういった公開の意見交換という形でお会いしたことがあるかどうかという御質問でございますが、済みません、今この時点で、過去あったかどうか情報を持ち合わせておりません。確認をして、後で直接お伝えをさせていただければと思います。

それから、経緯については、先ほど申し上げましたが、電中研のほうから、リスク情報の活用について意見交換をということでございます。個別の挨拶とか面談ということではなくて、テーマがはっきりしていることについての意見交換ということでございますので、こういう形で設定をしたということだと思います。

内容として、先方からリスク情報の活用、いわゆるPRAについて御説明があり、こちら

からもそれに対して考えをお伝えし、例えば検査制度などについてお話しすると思えますけれども、そして、意見交換を行うことになるだろうというふうに想定をさせていただきます。ちょっと直接お答えになっているかどうか分かりませんが。

○司会 それでは、タケオカさん。

○記者 共同通信のタケオカと申します。

明日の定例会の議題3番について、もう少し詳しい説明をお願いします。

○大熊総務課長 こちらはいわゆる3Sの調和、原子力安全、核セキュリティ及び保障措置の調和ということが検討を要する課題だという認識がかねてよりございまして、こちらについて、先ほどちょっと申し上げましたけれども、委員会で議論が行われたところでございます。それについての対応状況の報告及び審議ということでございます。

委員会で議論を行ったのは、今年の4月、今年度第5回の原子力規制委員会であったということでありまして、調和に向けた対応の基本的な方向について、その場で決定をしたということでありまして、それについての対応の状況を報告するということでもあります。

決定した内容については、第5回の委員会の資料などを御確認いただければありがたいと思うところですが、例えば、被規制者にそうした3Sの調和を図っていくことが重要だということを伝えていく必要があるといったこと、あるいは職員についての研修等も考えていくといったこと、あるいは検査においてどのように対応していくかということを整理していくといった方針が議論されて、方向として決定をされているところでありまして、それについて、現状、規制庁でどういったことを行っているかということ報告するというところでございます。

さらに、特に制度上どのように明確化を図っていくかということも検討するという課題になっておりまして、この部分については、検討状況の報告とともに、今回、委員会において委員の方々の御意見を伺って、今後の検討につなげていきたいということを実時点では考えているということでございます。

○記者 これは事業者の対応というよりは、規制委員会、規制庁としての対応ということになるのですか。

○大熊総務課長 そうですね。規制委員会での決定を踏まえて、規制庁でどういう対応をしてきているかということについての説明ということになっています。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。カワダさん。

○記者 朝日新聞のカワダと申します。

臨時会議のほうの詳しい説明を教えてください。

○大熊総務課長 こちらは、先ほど申し上げましたとおり、核物質防護に関する情報がありますので、今申し上げられることもある程度限られてはくるのですが、今回の議題の内容について、もう少しだけお話しさせていただくと、原子力施設における情

報システムのセキュリティということが重要な課題でございますので、これについての規制などの現状を踏まえた上で、今後、どういったサイバー攻撃の対応、どういった攻撃があり得て、どういったものが課題になってくるかと、そういったサイバー攻撃の対応などに関して、この場で検討を行うということを予定しているものでございます。

IAEAから出ている全般的な勧告などでも、コンピューターなどのシステムが、想定される攻撃などにきちんと対応して防護する必要があるということが言われておりますので、どういった攻撃があるのかといったようなことについて、検討が行われるという予定でございます。

○記者 どういったことがあるか検討すると。それに対する対策とかも、ここで議論するということですか。

○大熊総務課長 視野には入ってくると思いますけれども、まずは、どんな攻撃があるかの対応についてということが今回のテーマということでございます。

○記者 ありがとうございます。

○司会 それでは、よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—